

STOP！こどもの事故

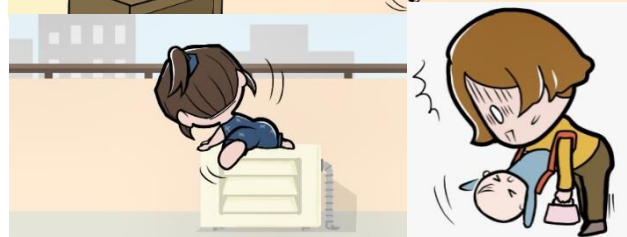
東京消防庁管内では、年間に約1万4千人のこども（12歳以下）が日常生活の中でケガをして救急車で医療機関へ運ばれています。1日にすると約40人ものこどもが運ばれていることになり、特に1歳児、2歳児が多くなっています。

令和元年から令和5年までの5年間に、5歳以下のこども65人が住宅等の窓やベランダからの墜落により医療機関に搬送されています。高所からの墜落は、生命に危険を及ぼす可能性が高く、十分注意が必要です。

墜落事故は5月に最も多く、次いで10月に多く発生しています。



1日に約39人のこどもが救急車で搬送されています。



知れず 日常に潜む 危険!!



普段の何気ない生活の中に命を脅かす事故は潜んでいます。

動画で日常に潜む危険を知り、事故を未然に防ぎましょう。

動画はこちら→



危険物安全週間

令和7年6月8日（日）から6月14日（土）まで

意外と知らない身近な危険物!!



車の燃料
(ガソリン等)



ストーブ燃料
(灯油)



消毒用アルコール



アロマオイル
動植物用油



スプレー缶



モバイルバッテリー
(リチウムイオン電池)



花火



着火剤・固定燃料
化粧品等

身近な危険物の火災事例や実験映像を紹介しています。事故を防ぐためのポイントや火災が発生した時の対応方法などを学びましょう。



※ 青梅市は2025年4月1日から小型充電式電池の収集を始めました。詳細は青梅市HPを参照

身の周りの危険物の取扱いにご注意を!!

- 火気の近くでは使用しない
- 換気を行う
- 高温にならない場所で密栓をして保管する
- 正しい方法で廃棄する

リチウムイオン電池搭載製品について

リチウムイオン電池は多くの家電製品に搭載されています。『モバイルバッテリー』『携帯電話機』『電動工具』『電動アシスト付き自転車』『コードレス掃除機』等

※ 令和5年中、東京消防庁管内では、リチウムイオン電池に起因する火災が167件も発生しました。

火災 は未然に防ぎましょう！そのためにできること

- 使用する前に取扱説明書をよく確認する。
- 衝撃を与えない。むやみに分解しない。
- メーカーが指定する充電器やバッテリーを使用する。
- 処分する際は、地域のごみ回収方法をよく確認する。

公式HP



防火・防災に関するお問合わせ

青梅消防署 警防課防災安全係



0428-22-0119(内線321)

青梅消防署

検索